２学年だより

夢の宅配便

３年学年主任
水野　喜代治

「北館裏のあじさいの花」

雨の中　純白に咲く　紫陽花に
激しい雨の　音も忘れる

２日（金曜日）は台風の影響もあって、朝から地面にたたきつけるような激しい雨が降っていました。傘を差しても足下がぬれるほどで、小田原の駅から学校まで早足で登校しました。雨がレースのカーテンのようになって遠くの景色をぼやかします。傘にあたる雨音は周りの音を消し去るような大きさで、激しい雨を物語っていました。

テニスコートの脇から北館の裏庭につながる細い坂道は滝のようになっていて、「ブーツはいてきてよかった。」と独り言をいいながら私は北館の裏庭にでました。北館の裏庭に着くと私の目に紫陽花の花が飛び込んできました。

真っ白な紫陽花が群生して咲いています。激しい雨の中、まるで白い雲のように、大小いくつもの紫陽花が雨の中で花を開いていました。花の色が白なので雨の中でも目立ちます。私は、しばし立ち止まって紫陽花を眺めていました。傘に跳ね返る雨音も忘れて。

これから梅雨の時期に入ります。雨の日に、北館の裏をのぞいてみてください。雨の中で咲いている紫陽花は本当に絵になると思います。青空の下の紫陽花も素敵ですが、やはり雨にうたれて咲いている紫陽花は趣があります。昨年は、紫の花をつけていたけど、今年は純白です。みんなも、紫陽花を見て一首歌を作ってみてください。心に余裕を持つことも大切ですから……。

ああ